

3月8日は 「国際女性デー」です!

アで起こった二月革命は、3月8日(ロシアの旧暦では2月23日)に女性労働者を中心としたデモで始まりましたが、最終的には帝政を崩壊に追い込みました。

日本では、1923年3月8日、東京神田のキリスト教青年会館で初めて集会が開かれました。その後、当時の厳しい弾圧と戦争によって途絶えていた集会は、戦後の1947年から再開されて今日に至っています。

国連は、1975年(国際女性年)の3月8日以来、この日を「国際女性デー」と定め、現在は国連事務総長が女性の十全^{シウテン}*かつ平等な社会参加の環境を整備するよう加盟国に対し呼びかける日となっており、「国際女性デー」は1978年に国連の公認の休日に加えられました。

毎年3月8日には世界各地で集会やイベントが開かれますが、近ごろは女性に感謝する日としての意味合いも色濃くなっています。特に顕著なのがイタリアで、この日には

日ごろの感謝の気持ちを含めて女性にミモザの花を贈ります。

3月8日は女性にとつて意義ある大切な日であるということをお忘れないようにしたいものです。

※十全…少しの欠点もなく、完全なさま。

クララ・ツェトキン

ツェトキンは、1857年、ドイツのドレスデン近郊の村に生まれ、若いころから教師になるために勉強する傍ら、女性解放運動や労働運動に興味を持っていました。

やがて、ツェトキンは、男女平等や女性参政権など女性解放運動に本格的に取り組むようになりました。

1910年、ツェトキンは、コペンハーゲンで開催された第2回国際社会主義女性会議で、20世紀初頭にアメリカの女性労働者がデモを行ったことにちなんで、「3月8日を『国際女性デー』として世界の女性たちが一致して毎年、男女平等と平和のための行動をおこすこと」を提起し、17カ国100人を上回る女性たちの満場一致の承認を得て採択されました。

今では、ツェトキンは「女性解放運動の母」と呼ばれています。

シリーズ 高齢者いきいきのびのび



◆高齢福祉課
☎ 587 - 6074、Fax586 - 2176

サークル活動で新たな趣味を!

市では高齢者の学習意欲を高め、趣味など生きがいきり、健康づくり、仲間づくりの一環として、気軽に参加することができ、主体的に活動ができるよう各種サークルを実施しています。

○シニアスクール

おおむね60歳以上の人を対象に、昨年9月から12月にかけてシニアスクールを開催しました。男の料理教室、絵てがみ教室、らくらくピアノ教室、リズム体操教室の4つの教室で、65人の参加がありました。

○生きがいきりの会

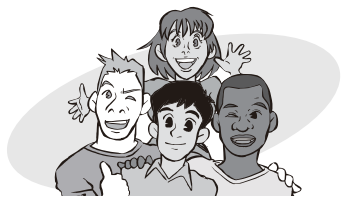
おおむね60歳以上の人を対象に、毎年度4月～翌年3月の期間で生きがいきり事業を実施しています。現在18サークルが活動しており、今年度は約360人が参加しました。



<生きがいきりの会発表会のお知らせ>

60歳以上の方の生きがいきり・仲間づくりを応援する生きがいきりの会では、1年間の活動の成果を発表・展示します。気軽にお越しください。

日時…3月18日(火) 午後1時30分～3時30分
会場…コミセンきたの



民族（人種）と人権

一体、世界には、どれだけの国があり、どれだけの民族がいるのでしょうか？

現在、国は191か国、民族は3000以上あるだろうといわれています。

大部分の民族は定住するところが多いでしょうが、中には一所に定住しない移動型の民族もあり、その中でもロマと呼ばれる人たちが存在しています。（ジプシーという呼び名が差別的との理由で現代では「ロマ」という呼称が使われています。）

昔から彼らは、さまざまな国の中にあつて少数であり言語や文化、生活習慣の違いから異端視され差別や偏見による迫害を受けてきました。

特に第2次世界大戦中のナチス・ドイツによるホロコースト（大量殺害）の対象はユダヤ人だけと思われがちですが、ロマも対象とされました。

その背景には、ゲルマン民族こそが最高であるという優生思想^{*}があり、他の民族を排除していくという絶滅政策が実行され25万人以上のロマの尊い命が奪われたのです。

それでは、現代において彼らロマの状況はどうなのでしょう？

ロマの外見的特徴は黒髪で肌が浅黒く茶色の瞳を持つ人が多いことですが、彼らの行動範囲はヨーロッパであり、ロマの中にも白色人種がいることから、隔世遺伝によって親とは違う肌の色や髪の色の子が生まれても何ら不思議ではありません。金髪で肌が白く青い瞳の子どもが生まれて

も他人に信じてもらえず、誘拐容疑で子どもを引き離され、DNA鑑定によって実子であることが証明され、ようやく子どもが戻される屈辱的なケースがあることから、ヨーロッパに根強く残るロマに対する差別や偏見がうかがえます。

何より、生まれた所や皮膚や髪の色・目の色などにより不当な扱いが許されるわけはありません。

身体的・文化的特徴に違いがあっても、「十人十色」お互いの違いを認め合い、歩み寄っていくことこそが人権を尊重した共生社会への第一歩となるのではないのでしょうか。

^{*}優生思想：生まれてきてほしい人間の生命と、そうでないものとを区別し、生まれてきてほしくない人間の生命は人工的に生まれないようにしてもかまわないとする考え。

3月21日は

国際人種差別撤廃デー

「発達支援センター通信」

◆発達支援センター
☎ 587 - 0033、FAX 587 - 2004



発達障がいのある人の就労について

この春、学校を卒業して就職する人は、少し不安はありながらも、期待に胸をふくらませていることと思います。発達支援センターの相談者の中にも、春からの就職に向けて準備をすすめている人がいます。

得意な面をいかせる仕事に就いて、安定して働いている発達障がいのある人はたくさんいます。しかし、発達障がいのある人は得意なことと不得意なことの差が大きい場合が多くみられ、全体的には能力があるのに、部分的に不得意なことがあると、仕事内容や職場環境によっては極端にできない部分が出てくる場合があります。また、配慮されない環境の中で、障がいのない人と同等の仕事ぶりを要求されてしまうと、不得意な部

分がクローズアップされてしまうことがあります。

例えば、パソコン操作は得意だが、電話でのやりとりが不得意な人が、電話での応対を必要とする事務所に配属された場合、電話応対に追われて他の仕事ができなくなることがあります。また、時間をかけて丁寧に作業が得意な人が、スピードを求められる仕事に就くと、焦ってしまいミスを頻発してしまうことがあります。

就きたい業種があった場合には、実際に求められる技能や職場環境を把握して、より自分の能力に合った職業や職場環境の選択をしていくことが、ミスマッチや短期離職の防止につながります。発達障がいのある人の就労には、ジョブマッチング（その仕事自分が合っているかどうか）の視点が欠かせません。

発達支援センターでは、市役所内の就労相談担当や働き・暮らし応援センター等の多くの関係機関と連携しながら、就労に関する相談支援を行っています。本人の「働きたい」という思いを尊重し、「自分に合うのはどのような仕事なのか」を一緒に考えていきたいと思えます。